

# 市議会議員 鮎川由美 議会報告書 No.18 2019

(令和元年第2回定例会)

<http://www.ayukawa-yumi.info/index.html>

発行

習志野市秋津  
2-3-3-104  
あゆかわ由美  
後援会



地域の皆様そして多くの市民のご支援を頂き、市議会議員として二期目を迎えることが出来ました。  
心より感謝申し上げます。

当選後の議会での役割は右一覧表の通り、それぞれの分野で活動を始めた所です。

今後も更に気を引き締め、皆様が安心して暮らせる習志野市を目指し頑張っております。  
引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

役割一覧	
協働経済常任委員会	委員長
議会報編集委員会	委員長
習志野市長期計画審議会	委員
青少年問題協議会及び いじめ問題対策連絡協議会	委員

## ◆会派を超えた願いから、幼・小・中学校のエアコン設置完了。



※稼働に先駆け、議員全員で視察してきました。  
涼しくて音も静かな環境で学習できます。

契約業者:興銀リース株  
リース期間:13年間(令和13年6月30日まで)  
契約金額:22億3994万1600円(税込)  
動力源:ガス方式(冬季は暖房に切り替えます)  
設置数:小314室 中138室 幼16室  
合計468室×(1室あたり2台)=936台

## ◆第2斎場は、令和元年10月より「しおかぜホール茜浜」として開設。

施設使用料のご案内

施設	区分	単位	金額(住民)	金額(住民以外)
火葬施設	15歳以上	1体	11,000円	11,000円
	15歳未満	1体	9,000円	9,000円
	死胎	1胎	5,000円	5,000円
	改葬	1件	5,000円	5,000円
	待合室(第5・10・11号)2室目	1室	1,100円	1,100円
	待合室(上記以外)2室目	1室	2,200円	2,200円
式場	第1式場	1回	103,620円	207,240円
	第2式場	1回	75,350円	150,700円
	第3式場	1回	92,510円	185,020円
	第4式場	1回	75,350円	150,700円
	祭壇(標準型)	1回	4,070円	8,140円
控室	追加会葬者控室	1時間	2,750円	5,500円
	遺体保管室	24時間	5,500円	11,000円

## ◆新習志野こども園の状況

4月より、新習志野こども園が開設され入園式に参加してきました。3歳児のクラスは、いちご組、みかん組で、それぞれ11人ずつ。4歳児のうさぎ組は19人。5歳児のほし組は17人でスタートしました。  
教育目標は、明るく元気な子(笑顔いっぱい、元気いっぱい)思いやりのある子(やさしさいっぱい)なんでもやろうとする子(やる気いっぱい、チャレンジいっぱい)です。

	3歳児	4歳児	5歳児	合計
香澄	9人	11人	6人	26人
秋津	10人	6人	7人	23人
袖ヶ浦	3人	2人	2人	7人
鷺沼		1人		1人
谷津			2人	
合計	22人	20人	17人	59人



# 一般質問より

## ●地域問題

①津田沼高校西側の道路拡幅について・・・進捗状況について説明を求めました。

回答：道路拡幅用地にあたる県有地は売買契約終了。(フェンス沿いに約 2m 拡幅)  
今後、道路拡幅工事に伴う移転補償等の協議と実施設計を行い、早期工事着手に努める。

要望：早期実現をお願いすると共に、フェンスからはみ出している木々が走行を妨げ危険な状況を伝え、刈込をお願いしました。(現在は刈込終了しております。)



②袖ヶ浦東地区のゾーン 30 の取り組みについて・・・千葉県警察による速度規制を受け、抑制対策を伺いました。

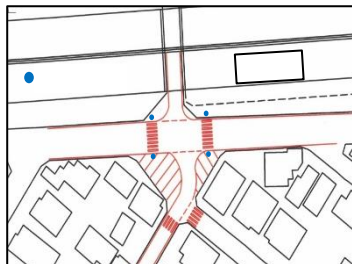
回答：現在、工事発注積算業務終了。契約業者を決め、小・中学校の夏休み期間に工事に入り 9 月中に終了予定。



通学路



通学路以外



交差点のコンパクト化



ハンプ舗装(凸部)

●公共施設再生に伴う地域対策について・・・町会、自治会の拠点の対応を伺いました。

回答：地域の市民が主として利用する「地域利用施設」は各コミュニティに配置されている小学校を拠点施設と位置付けて、施設更新に合わせて複合化して行く。

要望：小学校の建替えや改修には数十年を要す、これを待つては地域が衰退する可能性が懸念される。自治の基礎単位は町会・自治会なので、集会所補助金制度強化や公園の建ぺい率緩和を要望。更に、あづまこども会館と隣接する国有地の一体的な跡地活用は活用価値が上がることを提言致しました。

●京成大久保駅舎について・・・駅舎の耐震補強を図る為の協議状況を伺いました。

回答：京成電鉄から、令和 4(2022)年度末完成を目標とした京成大久保駅の駅舎の耐震補強を図るため駅施設改良工事の 2 案が示された為、比較検討を重ねた結果、地上駅案を選択した。

	橋上駅案	比較結果	地平駅案
利用者の利便性	西側踏切から橋上へ上がり、橋上の改札口からホームに降りた後の乗車に変わります。	<	西側踏切の改札口からホームへ着いた後の乗車になります。
西側踏切の安全対策	踏切の両側に橋上改札口への経路が設置され、橋上改札口から出てきた利用客が、目的方向の経路を使用することにより踏切を渡る歩行者減少が見込めます。この結果、踏切周辺の安全性の向上が見込めます。	≒	建替えに伴い、実効方向に駅舎の移動があり、 <u>西側踏切直近に空きスペースが生まれることから、歩行者、駅利用者等の滞留空間が確保されることによって安全性確保が見込めます。</u>
上り臨時改札口	<u>廃止</u>	<	<u>「存続」の見込みがあります</u>
本市の財政負担	<u>費用負担 約 20 億円</u> 駅施設改良に伴う負担 約 18 億 7 千万円 (全体事業費：約 40 億円) 駅施設改良に伴う道路拡幅 約 1 億 3 千万円	<	<u>費用負担無</u> ※事業費(約 6 億円)は京成電鉄の負担となる。

皆様からのご意見・ご要望は、FAX 047-452-0781 まで、お願い致します。